

※本資料は、第2回検討会終了後、報告書のとりまとめ段階までにヒアリングや現地調査を実施した事例についても含まれる。

事業者ヒアリング・事例調査の実施結果

国土交通省 総合政策局
安心生活政策課
令和2年12月

事業者ヒアリング・事例調査の実施状況

- 旅客施設や商業施設等において近年整備されたトイレ事例のうち、車椅子利用者用便房等への利用集中や多様な利用者の困りごと等を解消できるよう取り組んでいる事例について、ヒアリング調査や現地調査を実施。

■ヒアリング及び現地調査の対象事業者と実施状況

区分	対象事業者	対象施設	整備／改修時期	ヒアリング実施状況	現地確認実施状況
空港ターミナル	成田国際空港株式会社	成田国際空港	2019年	ヒアリング実施済	当事者及び事務局で実施（事業者が同行）
	北海道エアポート株式会社	新千歳空港	2019年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施
鉄道駅	札幌市交通局（札幌市営地下鉄）	大通駅 等	2020年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施（事業者が同行）
	仙台市交通局（仙台市営地下鉄）	勾当台公園駅 等	2018年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施（事業者が同行）
	大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）	心斎橋駅 等	2016年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施
SA・PA	東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）			ヒアリング実施済	－
	中日本高速道路株式会社（NEXCO中日本）	岡崎SA 等	2015年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施
	西日本高速道路株式会社（NEXCO西日本）			ヒアリング実施済	－
道の駅	新潟国道事務所	道の駅豊栄	2018年	ヒアリング実施済	－
	熊本河川国道事務所	道の駅阿蘇	2020年	ヒアリング実施済	－
	長崎河川国道事務所	道の駅させぼくす99	2015年	ヒアリング実施済	－
	岡山国道事務所	道の駅くめなん	2018年	ヒアリング実施済	－
商業施設	イオンモール株式会社	イオンモール上尾	2020年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施（事業者が同行）
	株式会社丸井グループ	博多マルイ 等	2016年	ヒアリング実施済	－
	株式会社カスミ	筑波大学店	2018年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施（事業者が同行）
	NTT都市開発	トラッド目白	2014年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施（事業者が同行）
公共施設	東京都利根川・パ・リネ・ク準備局	有明コロシアム・有明アリーナ	2019年	ヒアリング実施済	当事者及び事務局で実施（事業者が同行）
	豊島区	としま区民センター	2019年	ヒアリング実施済	事務局単独で実施（事業者が同行）

事業者の取組内容と整備事例

主な取組内容

成田国際空港株式会社

トイレ整備に関する方針等

- Tokyo2020アクセシビリティガイドラインの推奨基準を最大限反映するとともに、障害当事者へのヒアリング結果を反映した設計指針書を作成
- **障害当事者、有識者、空港関係者等で構成される「ユニバーサルデザイン推進委員会」を設置し、当事者参画による現場視察や議論を踏まえ、ハード・ソフトの両面から改修策を具体化**
- 2020年2月には「成田空港ユニバーサルデザイン整備ガイドライン」を策定
- 空港内の147か所のトイレについて、動線や利用頻度を考慮したランク付けを行った上で改修を実施
- ランク付けは行なっているものの、**便房内へのL型手すりの設置、聴覚障害者に対応する非常時のフラッシュライトの設置、音声案内の設置、様々な人が使いやすい低リップタイプの小便器の設置は全ランク共通で対応**



一般トイレのオストメイト用設備を設置した便房

トイレの整備及び機能分散の状況

- 車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）の機能分散については、一般便房に代替を設けることで機能分散（具体的には、運動能力が高い小型の車椅子使用者の一般便房の利用促進に向けた整備、**着替え台やベビーチェア、おむつ交換台の設置、オストメイト用設備等を一般便房に設置**）
- 利き手や障害の状況により選択できるよう、手すり等の手に触れる設備は可能な限り便房によって左右勝手違いのタイプのものを設置
- オストメイト用設備については機能分散を図るため、**一般便房内にオストメイト用設備を設けた場合かつ車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）が2つ整備されている箇所については、車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）のうち1つではオストメイト用設備の設置を行わない**こととした。
- 異性による同伴介助や性的マイノリティの利用を想定し、**性別に関係なく利用できる「オールジェンダートイレ」を設置し、内部にはカーテンも設置**
- 空港特有の利用方法への対応として、カートごと入れる大型便房を設置しているほか、一般トイレの便房も広めのものを設置

その他

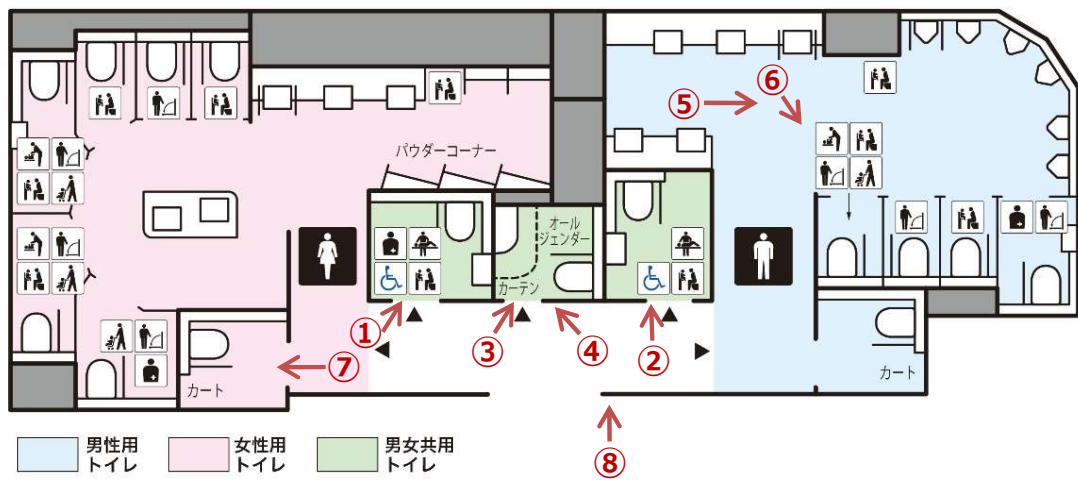
- 今回のリニューアル工事で完成したということではなく、今後もニーズの変化に応じて随時見直しをかけていく必要があると考える

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

成田国際空港

成田国際空港第1ターミナル到着ロビーの便所配置及び機能の設置



③異性介助が可能なオールジェンダートイレ



④オールジェンダー入口の表記



⑤男性トイレ内の小便器（仕切りを設置）



⑥男性トイレ内の便所



①車椅子使用者用便所等（左勝手）
（オストメイト用設備を設置）



②車椅子使用者用便所等（右勝手）
（オストメイト用設備を設置）



⑦カートのまま入れる便所（入口付近に設置）



⑧トイレ出入口に設置された案内版（点字対応）

事業者の取組内容と整備事例

主な取組内容

北海道エアポート株式会社

トイレ整備に関する方針等

- 国際線ターミナル新築時（2010年2月竣工）に、空港全体のバリアフリー、ユニバーサルデザインの検討を行うための「ユニバーサルデザイン検討委員会」（有識者、障害当事者、外国人留学生等が参画）を設置し、トイレやサイン等の検証も実施
- 国内線ターミナル改修（2018年）に際しては、国際線ターミナル新築時の考え方を踏襲してトイレを整備
- 障害当事者からの要請により、2019年12月に当事者（電動車椅子使用者）立ち合いによるバリアフリー設備チェック（現地調査）を実施



一般トイレの便房外に設置されたおむつ交換台と着替え台

トイレの整備及び機能分散の状況

- 車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）は、車椅子が回転できる広さ（3,000mm×2,700mm程度）を各エリアに原則1か所以上設置することとしており、内部にはオストメイト用設備、大型ベッド、手すり、洗面器を設置
- 一般トイレの便房内には手すりのほか、一部には着替え台（一部便房外）やベビーチェアを設置
- 「ユニバーサルデザイン検討委員会」では、一般トイレ内へのオストメイト用設備を設置する必要性が挙げられたため、男女別の一般トイレ内にそれぞれ設置
- 視覚障害者対応として、トイレ出入口に音声案内を設置しているほか、聴覚障害者対応として緊急時用のフラッシュライトを設置
- スペースが確保できる場合は、一般トイレの洗面台付近におむつ交換台を設置しているほか、小児用洗面器や女性トイレ内へは小児用小便器を設置

その他

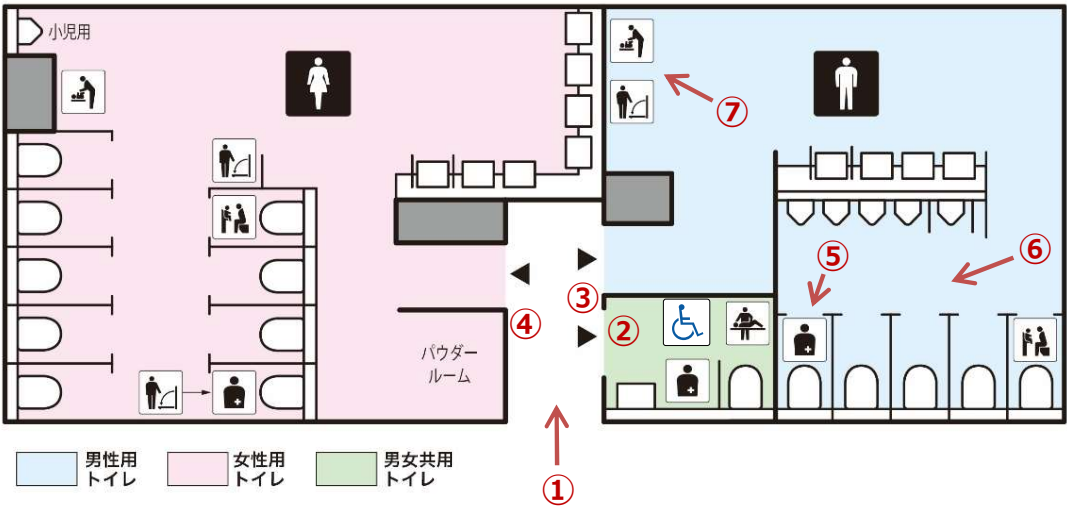
- トイレ出入口には、近隣のトイレの場所やトイレまでの距離の案内を掲出しており、大型ベッド（多目的シート）の設置についても記載
- 出発ロビー内では概ね70mごと、搭乗待合室では搭乗口2つの間に1か所トイレを設置

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

新千歳空港（国際線ターミナル）

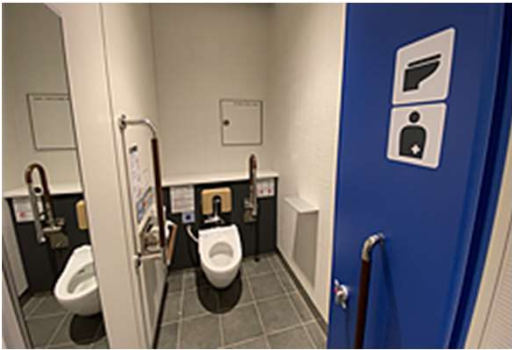
新千歳空港国際線ターミナルの便房配置及び機能の設置



③トイレ出入口の案内表示（男性トイレ）



④トイレ出入口の案内表示（女性トイレ）



⑤一般トイレ内のオストメイト用簡易水栓設備



⑥一般トイレ内の便房扉（男性トイレ内）



①トイレの出入口



②車椅子使用者用便房等内の配置



⑦洗面台付近に設置されたおむつ交換台と着替え台



⑧近隣のトイレ案内（国内線ターミナル）

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

札幌市交通局

トイレ整備に関する方針等

- 札幌市交通事業経営計画における一般トイレの洋式化整備計画により、**2020年～2036年にかけて全49駅のトイレ改修を計画**
- 全トイレの洋式化と温水洗浄便座等の設置による衛生面の向上、バリアフリー機能の充実と設備の機能分散を計画（全ての便房にベビーチェアを設置、おむつ交換台の設置、一般トイレの便房内にスペースがある場合はオストメイト用設備を設置、設計段階で可能と判断された場合は出入口の段差解消と車椅子利用者用簡易型便房を設置 等）
- 移動等円滑化整備ガイドラインを参考に、バリアフリーについては可能な範囲で最大限の対応方法を検討
- 「地下鉄駅トイレ改修事業における整備基準」を定め、その中で機能分散についても言及



一般トイレの車椅子利用者用簡易型便房
(オストメイト用設備も設置)

トイレの整備及び機能分散の状況

- 既存改修のため、車椅子利用者用便房等（多機能トイレ）の広さは駅により異なるが、**スペースが確保できる場合は大型ベッドを設置**しているほか、**介助者に配慮するためカーテンも設置**
- 車椅子利用者用簡易型便房にはオストメイト用設備（設置が可能な場合）、ベビーチェアを設置
- 視覚障害者対応として、**トイレ出入口に音声案内を設置**しているほか、トイレ出入口までの視覚障害者誘導用ブロックの敷設、トイレ内の配置と設備を案内する触知図を設置
- 一般トイレの各便房にはベビーチェアを設置しているほか、洗面台付近にはおむつ交換台も設置
- 設計時にトイレ出入口段差の解消が可能か検討（配管の関係でトイレが通路より高くなっているため、スロープを設置することで対応）

その他

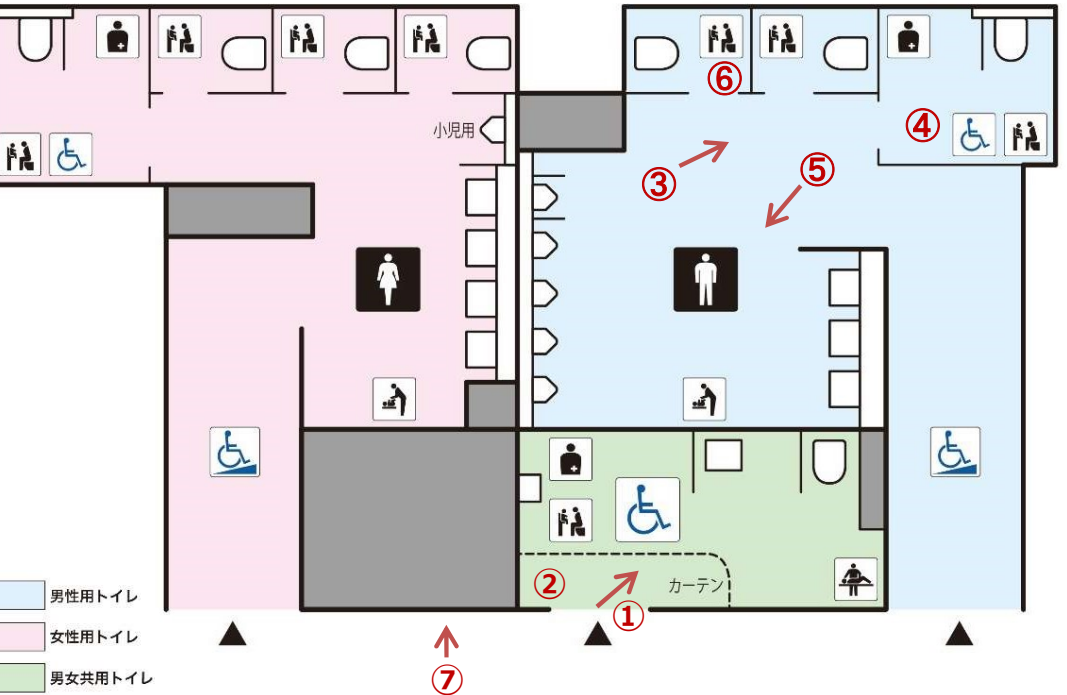
- トイレは改札外に設置（地下通路は夜間閉鎖されるため、トイレは営業時間内のみ利用可能）
- 全洋式便座には温水洗浄便座及び便座クリーナーを設置（便座の蓋は衛生及びいたずら防止の観点から未設置）

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

南北線／東西線／東豊線 大通駅

大通駅の便房配置及び機能の設置



①車椅子使用者用便房等内の配置



②車椅子使用者用便房等の扉開閉ボタンの注意表記



③一般トイレ内の便房配置（男性トイレ）



⑤男性トイレ内の小便器とおむつ交換台



④一般トイレ内車椅子使用者用簡易型便房（オストメイト対応）



⑥一般トイレ内のベビーチェアが設置された便房



⑦スロープが設置されたトイレ出入口



⑧通路側にスロープがせり出している例（写真はさっぽろ駅のもの）

事業者の取組内容と整備事例

主な取組内容

仙台市交通局

トイレ整備に関する方針等

- 2004年に仙台市バリアフリー基本構想が策定されたことを受け、仙台市交通局ではバリアフリー特定事業計画（公共交通特定事業計画）を策定し、2009年以降は障害者団体との意見交換会及びアンケートをそれぞれ隔年で実施
- 地下鉄東西線建設（2015年開業）に際しては、設計の当初から障害者の意見を聴取し、その結果を設計に反映
- 東西線建設時は機能分散の考え方が示されていなかったが、待ち時間解消のニーズがあり、新規建設でスペースの確保が比較的容易だったことから、車椅子利用者用便房等（ひろびろトイレ）を2か所設置
- 南北線は既存改修であり、スペースの確保が困難であったところ、当時のガイドラインで機能分散の考え方が示されたことから、一般トイレに車椅子利用者用簡易型便房を設置することで対応
- 地下鉄南北線は開業から30年が経過し、その間にバリアフリー関連法令の変化、利用者の求める水準も上がってきたこと等を踏まえ、第2期の特定事業計画に位置づけ、トイレ改修も含めた全面改修の実施を計画



一般トイレの車椅子利用者用簡易型便房
（オストメイト用設備も設置）

トイレの整備及び機能分散の状況

- 改修工事の前後で実施した障害者団体との意見交換会で挙げられたニーズに基づき、車椅子利用者用簡易型便房内の低い位置に荷物掛けフックを追加で設置、大きなトイレサインの設置（床面まで到達する大型のもの）、一般の男女別トイレ内へのおむつ交換台の設置等の対応を実施
- トイレ出入口段差の解消（従来は和式便器の排水管等のため1m程度床面が上っており、4～6段の階段が設置されていたところ、和式便器の廃止や壁内配管の活用により20cm程度まで切り下げてスロープを設置）
- 一般トイレ内の車椅子利用者用簡易型便房にはオストメイト用設備、着替え台、ベビーチェアを設置
- 視覚障害者対応として、トイレ出入口に音声案内を設置しているほか、聴覚障害者対応として火災発生時用のフラッシュライトを設置

その他

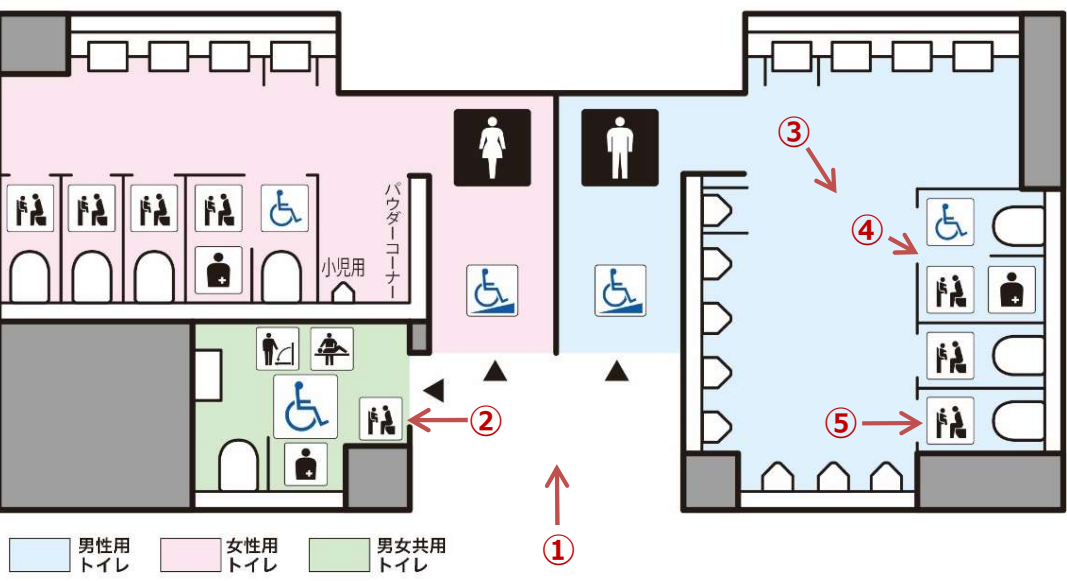
- 東西線、南北線ともトイレは基本的に改札外に設置（駅舎は夜間閉鎖されるため、トイレは営業時間内のみ利用可能）
- 視覚障害者へ配慮し、改修工事期間中、仮設トイレの位置や通路幅が狭くなっている部分を示す仮設の音声案内設備を設置
- 外国人による“流すボタン”と“非常呼出ボタン”の押し間違いが多発したことから、“非常呼出ボタン”説明プレートの日本語説明文の下部に英文を追加

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

南北線 勾当台公園駅

勾当台公園駅の便所配置及び機能の設置



①スロープが設置されたトイレ出入口



②車椅子使用者用便房等（男女共用と明記）



③一般トイレ内の配置（男性トイレ）



⑤一般トイレ内のベビーチェアが設置された便房



④一般トイレ内車椅子使用者用簡易型便房（オストメイト対応）



⑥車椅子使用者用便房等内の配置（写真は山台駅北側のもの）



⑦火災発生時用のフラッシュライト



⑧トイレ工事中の車椅子対応仮設トイレ（写真は五橋駅のもの）

事業者の取組内容と整備事例

主な取組内容

大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）

トイレ整備に関する方針等

- 2012～2025年度までの計画で、建設年度の新しい駅を除く122駅のトイレリニューアルを計画
- 2012年の整備開始時点でトイレ整備が進んでいた商業施設やサービスエリア等の事例を参考としたほか、トイレメーカーから過去の事例やトイレに関するデータの提供を受けるなどした上で、移動等円滑化整備ガイドラインに沿った整備方針を決定
- トイレの整備は、整備マニュアルを策定した上で実施（全便房洋式化）
- 素材や色彩は、環境色彩コントロールの専門家の協力を得て決定



心斎橋駅一般トイレ内の車椅子利用者用簡易型便房

トイレ整備及び機能分散の状況

- 車椅子利用者用便房等（多機能トイレ）は各駅に1以上設置し、内部にはオストメイト用設備、大型ベッド、手すり、洗面器を設置
- 移動等円滑化整備ガイドライン（2018年版）では、オストメイト用設備として汚物流し（温水）が標準とされたことから、以降の整備では設備の仕様を変更
- 改修前の便房数と同数が確保できることを前提に空間に余裕がある場合は、一般トイレ内に車椅子利用者簡易型便房を設置（内部には手すり、おむつ交換台、ベビーチェア、着替え台、幼児用の補助便座を設置）
- 一般トイレの全便房にI型手すりや、手すりとしても使用できる紙巻器を設置
- 空間に余裕がある場合は、洗面台付近にベビーチェアを設置

その他

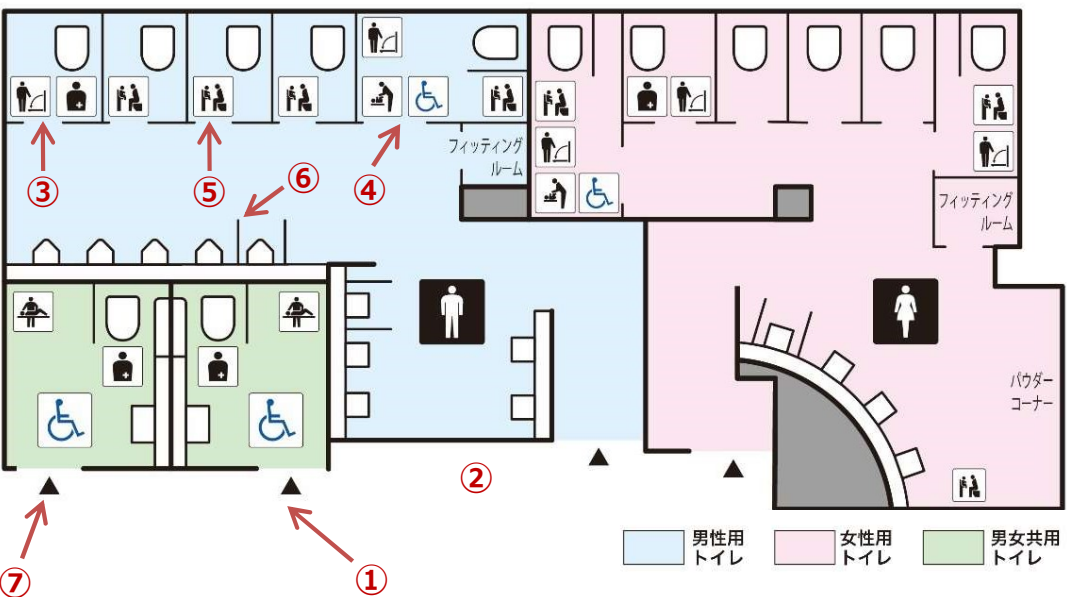
- 車椅子利用者用便房等に名称の表記はしておらず、利用対象者が分かるよう設置されている設備をピクトグラムで表示
- 全ての洋式便座には便座クリーナーを設置しており、男女別トイレとも1便房は温水洗浄便座を設置
- 臭い問題への対応として抗菌の床材を採用し、清掃方式を乾式に変更

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

御堂筋線／長堀鶴見緑地線 心斎橋駅（Osaka Metro）

心斎橋駅の便房配置及び機能の設置



③一般トイレ内のオストメイト用簡易水栓設備



④一般トイレ内の車椅子対応便房



⑤一般トイレ内のベビーチェアが設置された便房



⑥男性トイレ内の小便器



①車椅子使用者用便房等の出入口



②トイレ出入口に設置された案内版（点字対応）



⑦車椅子使用者用便房等内の配置



⑧洗面台付近に設置されたベビーチェア
（写真は御堂筋線淀屋橋駅のもの）

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）

トイレ整備に関する方針等

- 設計要領を制定しており、トイレ規模や数量、各種設備の基準等について定めている
- 介助者を必要としない車椅子使用者や、松葉杖等を使用している方を想定し、男女別トイレ内に大型便房を設置
- トイレ規模（便器数）等は、駐車区画数や利用状況等、現場ごとの状況に応じて個別に対応

トイレ整備及び機能分散の状況

- 車椅子使用者用便房等の機能分散を図るため、男女別トイレ内に、車椅子でも入れる大型便房、オストメイト用設備、ベビーチェア等を設置
- 大型便房は清掃時の分割ブロック毎に1か所以上設置
- 車椅子使用者用便房等には、標準でカーテンを設置
- 車椅子使用者用便房等には、設備の位置を案内する音声案内装置を一部の休憩施設において設置
- 機能分散の観点からオストメイト用設備は男女別トイレ内に整備しているが、既存建物の改修にあたりスペースが確保できない場合は車椅子使用者用便房に整備している。
- 利用状況に応じて、親子の利用を想定したファミリートイレを設置

その他

- 各便房の利用状況を把握できるよう、一部の休憩施設においては、空き状況をデジタルサイネージで表示

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

中日本高速道路株式会社（NEXCO中日本）

トイレ整備に関する方針等

- 「設計要領第六集 建築施設編」を作成しており、整備するトイレの規模や数量、設置する各種設備についてとりまとめ
- “男女トイレ内に大型ブースを設置する”、“大型ブースは車椅子使用者が利用できるようにする”といった記述があり、機能分散の必要性が理解できるような内容となっている



静岡サービスエリア下り線のトイレ出入口

トイレ整備及び機能分散の状況

- 車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）を“オールインワン”とするのではなく、一般トイレに分散できる機能については極力分散を進めている（車椅子使用者用便房等には大型ベッド、着替え台、手すり、洗面器、カーテンを設置）
- 介助者が同行して使用することを想定し、車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）内にはカーテンを設置
- 感覚過敏への対応として、車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）内のハンドドライヤーには静音型の製品を採用（現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため使用停止中）
- 一般便房内へのオストメイト用設備の設置を優先
- 杖を使用する者や小型の車椅子使用者向けに、一般トイレ内に大型便房（車椅子対応便房）の設置を推進
- 乳幼児連れの利用に配慮し、一般便房内にベビーチェアを整備しているほか、大型便房内にはおむつ交換台も整備
- 車椅子使用者用便房等では視覚障害者向けに、手すりやボタンに点字表記をしているほか、弱視（ロービジョン）に対しては色彩、コントラスト比等に配慮

その他

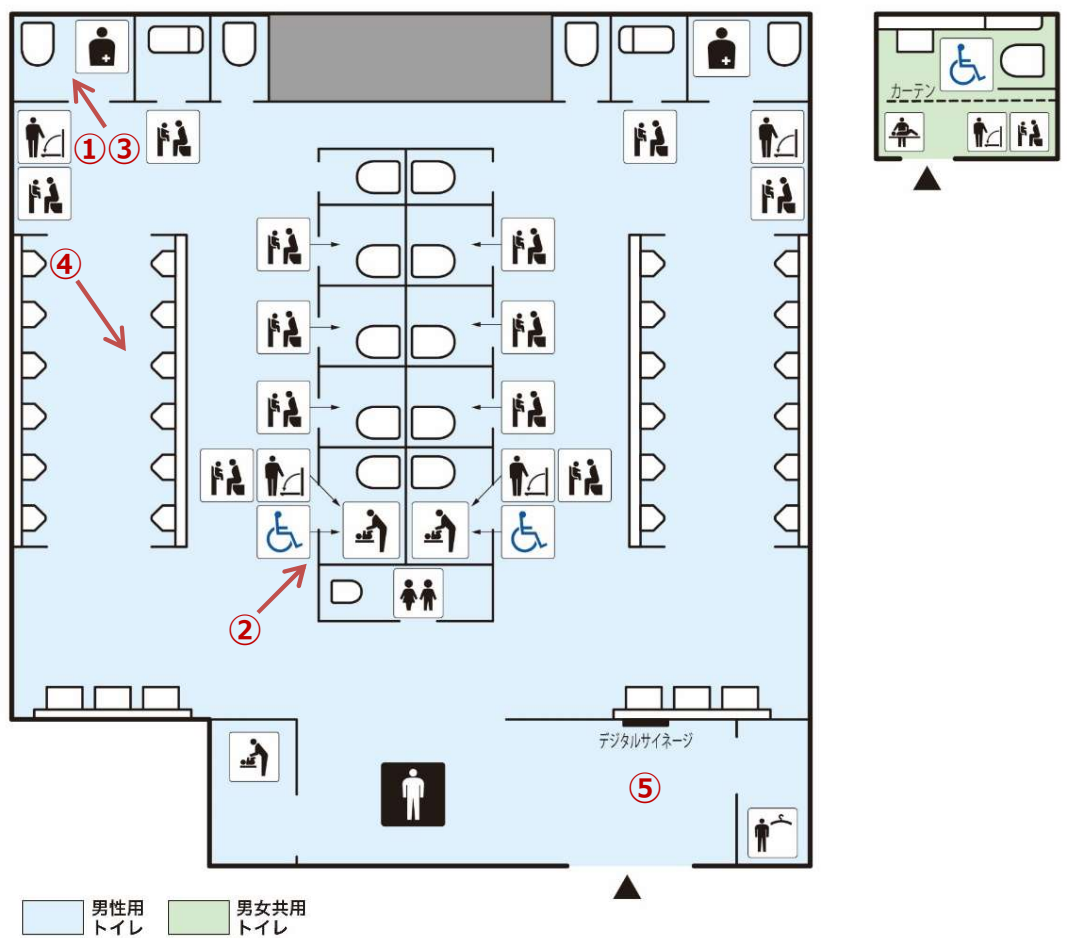
- 各便房の利用状況を把握できるよう、一部のSA・PAでは出入口付近にデジタルサイネージを設置しているほか、便房の扉付近には利用状況を示すランプを設置
- 臭い問題への対応として、乾式清掃を導入（乾式清掃に対応するゴムタイルを採用したことで、トイレが綺麗になり、従来の湿式清掃に比べ清掃も楽になった）
- インバウンド対応として、一部のSA・PAでは洗浄便座の使用方法やトイレの利用方法等を14か国語で案内するタブレットを導入

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

岡崎サービスエリア（NEXCO中日本）

岡崎サービスエリア（下り線男性トイレ）の便房配置及び機能の設置



①一般トイレ内のオストメイト対応便房



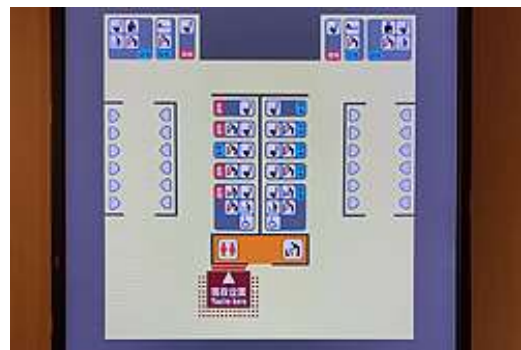
②一般トイレ内の車椅子対応便房
(写真は岡崎サービスエリア上り線男性トイレのもの)



③オストメイト対応便房の扉と空き状況を示すランプ



④コントラスト比が高い男性トイレ内の小便器



⑤利用状況を表示するデジタルサイネージ



⑥車椅子使用者用便房等内の配置
(写真は静岡サービスエリア下り線のもの)

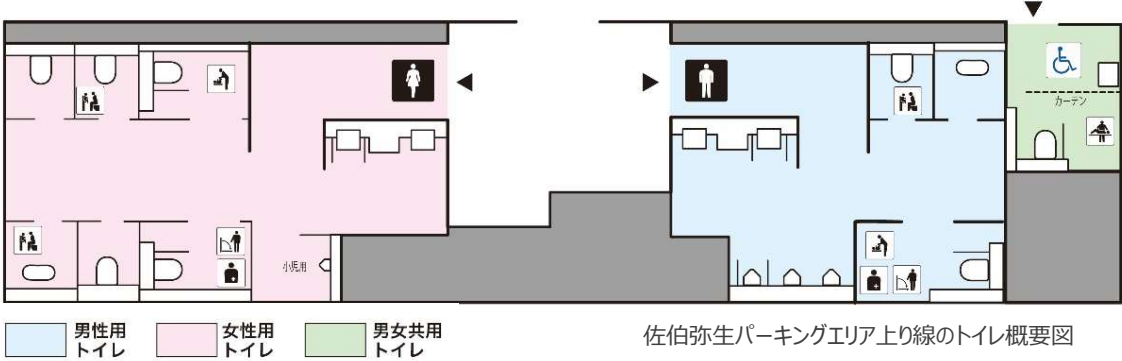
事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

西日本高速道路株式会社（NEXCO西日本）

トイレ整備に関する方針等

- 設計要領を作成しており、トイレ規模や数量、各種設備について定めている
- 基本的には車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）と、一般トイレ内に介助者を必要としない車椅子使用者等多様な利用者を想定した大型便房を設置



トイレ整備及び機能分散の状況

- 車椅子使用者便房等（多機能トイレ）は、多様な利用者の利便性に配慮し、手すり、手洗器、鏡、汚物入れ、簡易ベッド、カーテン、非常警報装置を設置
- 介助者を必要としない車椅子使用者や松葉杖・義足の方等の利用を想定し、男女別トイレ内に車椅子で利用可能な大型便房を設置
- 高齢者や妊婦、乳幼児連れの利用を想定し、男女別トイレ内におむつ交換台を整備した大型便房を設置
- 「外見ではオストメイトとわからないので多機能トイレは使いづらい」との声から、男女別トイレ内にオストメイト用設備と着替え台を整備した便房を設置
- 便房内のライニングは荷物置き場として使用することができ、車椅子でも使える高さとなっている
- 車椅子使用者用便房等の数は男女別トイレの大便秘器数の合計数をもとに算定（大型便房への機能分散は加味せず）
- 大型便房の数は男女別トイレにそれぞれ1つ以上設置

その他

- 便房数の多いトイレでは、トイレの入口で便房の満空状況について案内
- 外国人利用者への対応として、流すボタンの5言語表示や使い方の掲示を実施

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

新潟国道事務所（道の駅豊栄）

トイレ整備に関する方針等

- 改修にあたっては、建築設計標準に基づいてバリアフリー設備を設置しており、車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）に加え一般便房にも機能分散を図っている
- まずは最大限バリアフリー設備を配置できるようにしてから大便器や手洗い台を確保

トイレ整備及び機能分散の状況

- 改修によって男女共用の車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）に広さが確保できたことから大型ベッドを設置。また、異性介助を想定してカーテンを設置
- 男女別トイレ内にそれぞれ、おむつ交換台を備えた大型便房と、オストメイト用設備を備えた便房を整備
- 子連れの利用者が多いことから、男女別トイレ内にそれぞれ幼児用便器を設置したこどもコーナーを整備
- トイレ入口に案内図を設置し、どの便房にどの設備があるかピクトグラムにより表示
- 車椅子使用者用便房等は「〇〇トイレ」といった名称による誘導はしておらず、対象者をイメージできるピクトグラムを表示
- 車椅子使用者用便房等の扉は、耐久性や故障したときの問題から手動式を採用
- 非常用ボタンが押された場合は、ブザーと回転灯で外部に示すようになっている



その他

- 基本的には乾式清掃で、損傷の発見も含め 1 日 2 回定期的に清掃。水を使って床を掃除する場合もあるが、濡れたままの状態にならないよう都度工夫
- 今後隣接した別の建物として授乳室を整備予定

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

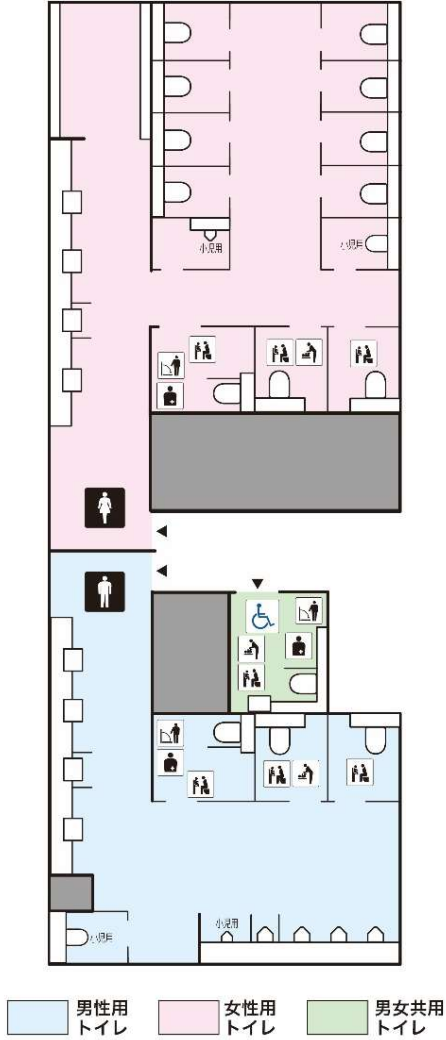
熊本河川国道事務所（道の駅阿蘇）

トイレ整備に関する方針等

- NEXCOの設計要領や「道の駅トイレの改善に関するチェックポイント」に基づきトイレの規模（便器数）や必要な設備を他の事例なども参考に整備
- 授乳室については「サービスエリアと道の駅における子育て応援の取組方針」に基づき設置を進めている

トイレ整備及び機能分散の状況

- 車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）の混雑緩和のため、**男女別トイレ内にもオストメイト用設備や乳幼児連れ用設備（おむつ交換台・ベビーチェア）を分散して設置**
- オストメイト用設備が設置された便房には、併せて着替え台も設置
- 車椅子使用者用便房等には、視覚障害者および外国人利用者を想定した**5か国語の音声案内を設置し、設備の配置について案内**
- トイレ入口には触知案内図、便房扉にフラッグサインを設置し、どの便房にどの設備があるかピクトグラムにより表示
- 観光地であり乳幼児連れの利用も多いことから、男女別トイレ内に子ども用トイレを設置、またトイレに併設して授乳室を整備
- 夜間に管理者が不在であることから、車椅子使用者用便房等の扉は手動式を採用



トイレ概要図

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

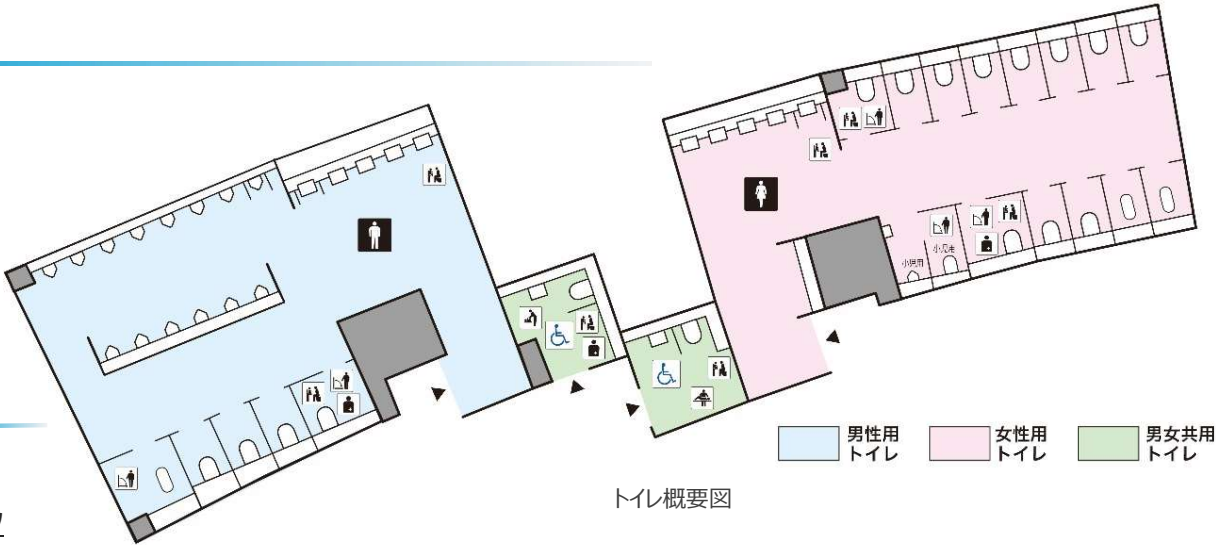
長崎河川国道事務所（道の駅させぼつくす99）

トイレ整備に関する方針等

- NEXCOの設計要領に基づいてトイレの規模（便器数）を設定し、設備については比較的新しい整備事例を参考に整備
- 少しでも多くのニーズに対応できるよう、スペースが確保できればより多くの設備を配置するよう心掛けている

トイレ整備及び機能分散の状況

- 車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）を2つ整備し、一方には大型ベッド、もう一方にはオストメイト用設備と乳幼児連れ用設備（おむつ交換台とベビーチェア）を設置
- 男女別トイレ内にもオストメイト用設備をそれぞれ1つずつ設置
- トイレ入口のサインは、遠くからでも見やすいよう壁一面に色を塗って大きく表示し、併せて設備のピクトグラムを表示
- トイレは24時間利用可能であるが、夜間などは閉じ込めが発生しても対応できないため、車椅子使用者用便房等の扉は手動式を採用
- 非常用ボタンが押された場合は、外部に設置した非常灯が点灯するようになっている



その他

- 湿式清掃としているが、水洗いするかどうかは状況によって判断。臭い対策のため大きめのタイルを採用
- 授乳室をトイレ外に整備中（R3年2月から使用可）
- 将来的な改修への対応がとりやすいよう、なるべくゆったりしたスペースを確保したうえで整備

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

岡山国道事務所（道の駅くめなん）

トイレ整備に関する方針等

- NEXCOの設計要領のほか各種基準等を参考に、バリアフリーや子育て応援の観点から整備
- 和式トイレの施設については全て洋式化する方針
- 直近の事例では、ベビーチェア、おむつ交換台、授乳設備、おむつ販売機等を備えた子育て応援用スペースを整備（※授乳設備、おむつ販売機は道の駅構内）

トイレ整備及び機能分散の状況

- 男女別の一般トイレ内にベビーカーでも入ることができる広さの大型便房を整備
- 家族連れの利用を考慮し、車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）に加え男女別の一般トイレの大型便房内にもおむつ交換台を設置
- 大型便房以外の便房には便座から届く範囲にベビーチェアを設置
- 全ての便房に荷物掛け用のフック、高齢者配慮のための手すりを設置
- 便房の扉にベビーチェアやおむつ交換台の有無を示すピクトグラムを設置
- 車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）に設置された非常ボタンが押された場合、トイレ外の非常灯やアラームが作動し、それを確認した人が出張所（休日・夜間は自動切換えて道路情報管理室）に通報することで連絡が届く

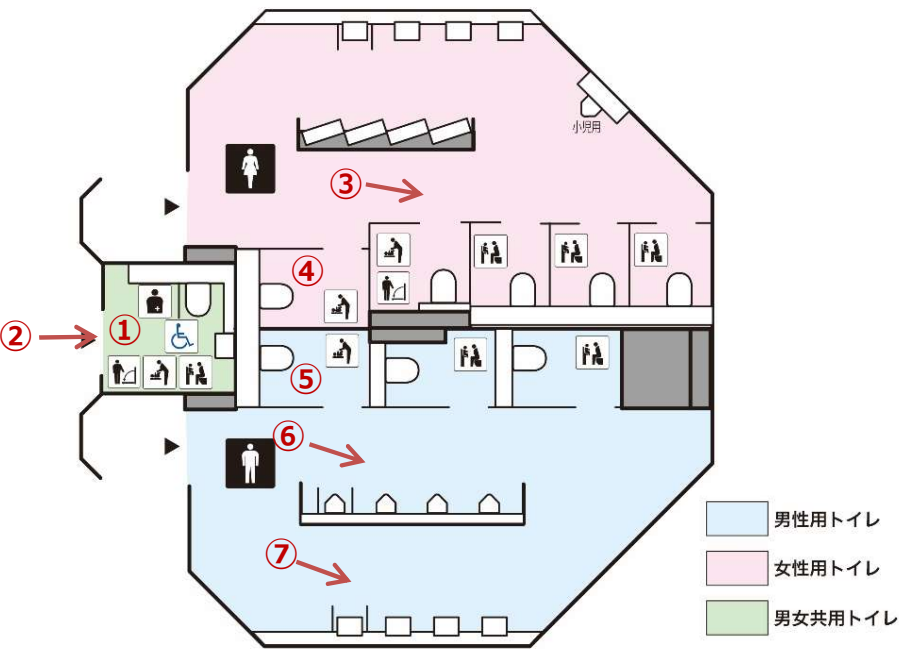
その他

- 改修にあたり、地方整備局の女性職員により女性ユーザー目線でトイレをチェックし、そこで挙げられた意見を取り入れている
- 改修後は乾式清掃としたが、中山間地に立地していることから、床の泥汚れ、侵入する虫の汚れなどが多く、改修前の湿式清掃より手間を要している
- 外国人利用者の利用マナー向上のため、便房内に貼ることができるポスターを作成し、各道の駅に配布

整備事例

道の駅くめなん（岡山国道事務所）

道の駅くめなんの便房配置及び機能の設置



②車椅子使用者用便房等入口



③女性用トイレ



④女性用トイレ内の大型便房



⑤男性用トイレ内の大型便房



①車椅子使用者用便房等



⑥男性用トイレ



⑦男性用トイレ手洗い台

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

イオンモール株式会社

トイレ整備に関する方針等

- 社内ルールにより、トイレのあるべき姿を示しており、機能分散の考え方や多様な利用者を想定した設計を心掛けるよう取組んでいる。
- 以前は車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）の整備により、障害者、妊産婦、乳幼児連れ、オストメイト等が利用できるようにしていたが、現在は男女ともに大型便房を設置し、機能分散の考え方を取り入れた整備を実施

トイレ整備及び機能分散の状況

- 2008年開業のイオンレイクタウンでは、一般トイレ内に大型の便房を設置していたが、車椅子使用者用便房等（多機能トイレ）を「（障害者）優先トイレ」としたことを契機に、乳幼児連れについては一般トイレ内の大型便房に誘導するよう見直し
- 車椅子使用者用便房等（優先トイレ）は各フロアに1か所以上配置し、内部には大型ベッドと手洗い器のほか、介助者を念頭にカーテンも設置
- 車椅子使用者用便房等（優先トイレ）のサイズは、2,400mm×2,700mm
- オストメイト用設備は1か所以上設置
- 一般トイレ内の大型便房はベビーカーのまま入れる広さであり、内部にはベビーチェア、おむつ交換台、着替え台を設置



トイレ付近の通路に設置されたサイン



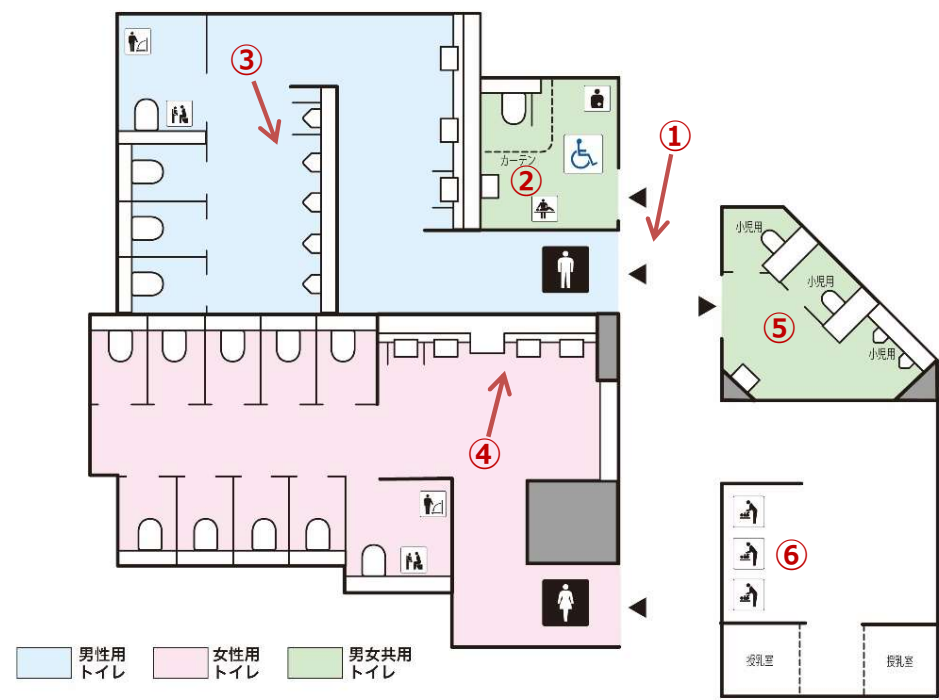
トイレ入口のサイン

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

イオンモール上尾（イオンモール株式会社）

イオンモール上尾（2階トイレ）の便房配置及び機能の設置



③男性用トイレ小便器



④女性用トイレ手洗い台



⑤こども用トイレ



⑥おむつ交換台



①トイレ入口



②車椅子使用者用便房等（優先トイレ）



⑦女性用トイレの大型便房および子供用の小便器（※別フロアのトイレ）



⑧トイレ内の設備を示す表示（トイレ入口手前に設置）（※別フロアのトイレ）

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

株式会社丸井グループ

トイレ整備に関する方針等

- 関連法規及び利用者の声を取り入れ、トイレ改修の際のポイントを取りまとめた「施設環境ガイドライン」を作成
- 若年層の女性を中心の店舗ということもあり、従来は女性向けの視点でトイレ整備を進めていたが、博多マルイの開業（2016年）に合わせて、インクルーシブ強化の観点から年代や性別に関わらず利用しやすいトイレの整備方針に転換

トイレ整備及び機能分散の状況

- ベビーカーのまま入れる大型便房の設置、車椅子利用者用便房等（みんなのトイレ）の全フロアへの配置（従来店舗では主要フロアにのみ配置）、車椅子利用者用便房等への大型ベッドの設置、一般トイレへのベビーチェアの設定等（博多マルイ）
- 高齢者、車椅子利用者、杖を使用する者等のトイレまでのアクセスを考慮し、一部店舗でトイレまでの距離を記したサインを整備しているほか、トイレの機能が最優先でわかるような、ユニバーサルデザインに配慮したサインシステムへの改修を実施
- サインシステムの改修内容は、コントラスト比を高める、全館案内でのトイレ案内の比重を高める（どのフロアにどの機能を持つトイレがあるかすぐ分かるよう、フロア表示の横にピクトグラムで表示）、トイレ出入口に機能を大きく表示させる等
- トイレまでの動線がスムーズになるような配慮、トイレ近くに座れる場所（休憩場所）の設置、電動車椅子用のコンセントの設置（博多マルイ）
- 既存の店舗では、おむつ替えスペースが女性トイレにしかない場合もあったため、男性でも利用できるよう可動式ベビールームを設置

その他

- 博多マルイの設計段階では、インクルーシブデザイン専門の有識者等の意見をサイン計画に反映させたほか、近接商業施設における障害当事者等（車椅子利用者、肢体不自由者、聴覚障害者、障害児連れの親、外国人等）による買い物体験を実施し、困りごと等の実態を把握
- 入口から近いフロアのトイレに利用が集中し、その他のフロアでは空きがあるという状況が発生していたことから、トイレの利用状況に関する情報提供を実施（有楽町マルイ）



フロア表示の近くにトイレ及びトイレ機能の有無を表示

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

博多マルイ／有楽町マルイ

博多マルイ

	婦人化粧室 Womens restroom	紳士化粧室 Mens restroom	みんなのトイレ Multipurpose restroom	ベビールーム Nursery
7F				
6F				
5F				
4F				
3F				
2F				

各フロアのトイレ及びトイレ機能の案内表示版



車椅子使用者用便房等（みんなのトイレ）の内部



博多マルイ設計段階の近接商業施設における障害当事者等による買い物体験（ワークショップ）開催の様子



有楽町マルイ

有楽町マルイ 〈施設の空き状況〉		
	婦人化粧室	↑
8F	空きあり	残り個室 3/4
7F	空きあり	残り個室 4/4
6F	空きあり	残り個室 4/4
5F	空きあり	残り個室 4/5
4F	混雑	残り個室 1/4
3F	満室	残り個室 0/8

混雑することが多い女性トイレ、車椅子使用者用便房等（みんなのトイレ）、授乳室、パウダーコーナーの空き状況を、インターネットで情報提供

順次推進中の取組



誘導サインに距離表示を入れた事例（博多マルイ）



誘導サインに距離表示を入れた事例（柏モディ）



誘導サインに距離表示を入れた事例（丸井錦糸町店）

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

株式会社カスミ

店舗のバリアフリー化に関する方針等

- 法令の建築基準以外に社内基準を設けてマニュアル化（建築物以外の備品についても準拠）しており、会社としてバリアフリー法制定以前のハートビル法の時から設計については可能な限りの対応をし、認定を受ける取組みを実施
- 近年の店舗は社内基準に則り基本設計を行った上で出店

トイレ整備及び機能分散の状況（筑波大学店の場合）

- 性別に関係なく使えるユニセックス化の観点で設置しており、5つの便房のうち3つが男女共用便房（うち1つは車椅子使用者用便房等）
- 車椅子使用者用便房等には、オストメイト用簡易水栓設備、おむつ交換台、ベビーチェアを設置
- 男女共用便房内には、ベビーチェアと着替え台を設置
- 男性用、女性用便房も1つずつ設置されているが、様々な人が落ち着いて利用できるよう全てが広めの個室となっている

その他

- 筑波大学店は店舗立地の特性上、利用者の9割以上が大学生であり、乳幼児連れの利用はかなり少ない
- 筑波大学店では、地域貢献や学生のために地元企業協賛による本店舗設置計画を実施



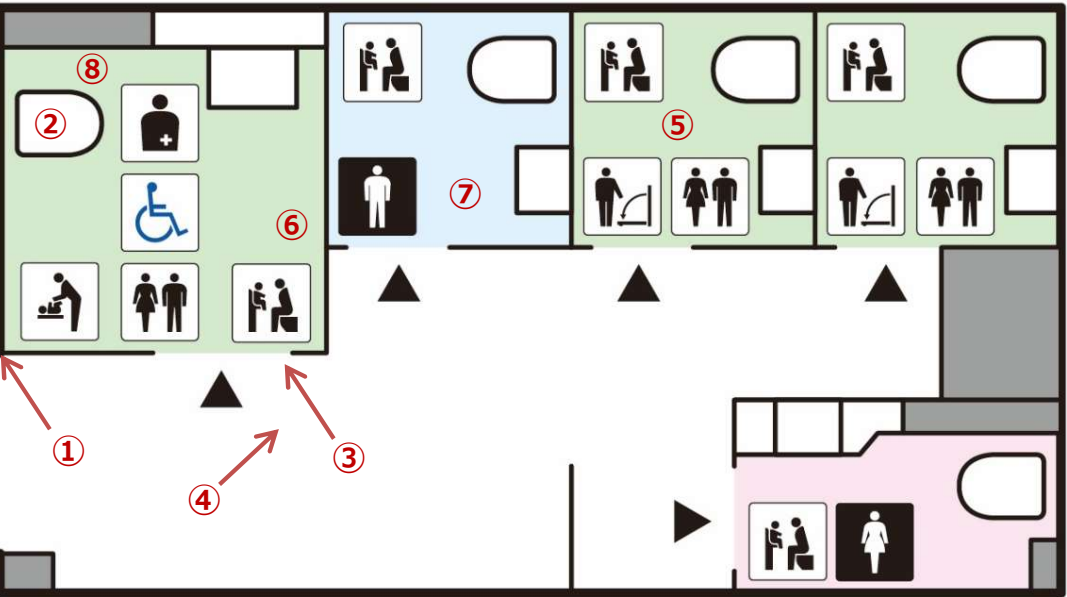
男女共用便房の扉

事業者の取組内容と整備事例

● 整備事例 ●

カスミ（筑波大学店）

カスミ（筑波大学店）の便房配置及び機能の設置



①トイレ出入口に設置された案内表示

男性用トイレ 女性用トイレ 男女共用トイレ



①トイレ出入口に設置された案内表示



②オストメイト用簡易水栓設備と背当てのついた便器



③車椅子使用者用便房等の出入口



④トイレの扉に表示された便房内の機能



⑤男女共用便房内のベビーチェアと着替え台



⑥車椅子使用者用便房等内の配置



⑦男性用便房内の配置



⑧便房内のボタン配置

● 主な取組内容 ●

NTT都市開発（トラッド目白）

トイレ整備に関する方針等

- 「目白Community Commons」をキーワードに、「地域や歴史を大切にしながら、みんなが集まりやすいような施設」という考え方のもと、ユニバーサルデザインの観点から、様々な立場の方がそれぞれに使いやすい施設として整備

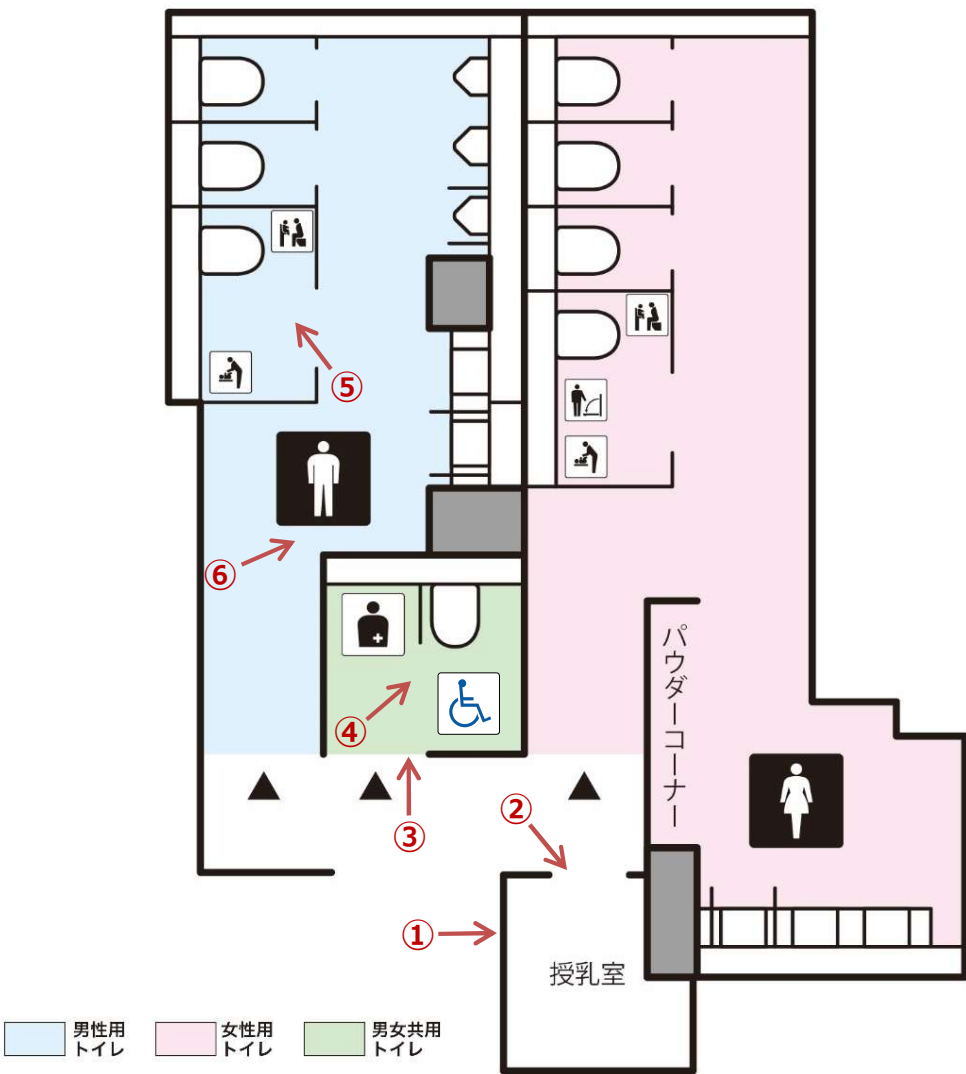
トイレ整備及び機能分散の状況

- 男女別トイレそれぞれに大型便房を整備し、おむつ交換台及びベビーチェアを設置
- 女性トイレの大型便房には、着替え台を整備
- 車椅子使用者用便房等にはオストメイト用設備を設置。また、車椅子使用者でも利用できる高さの棚を設置
- トイレに隣接して授乳室を整備
- トイレ入口で具体的な設備のピクトグラムをすべて表示するとともに、車椅子使用者用便房等の前には車椅子のピクトグラムとオストメイト用設備のピクトグラム、男女別トイレの前には男性／女性のピクトグラムと乳幼児連れ用設備のピクトグラムを表示し、対象者を明確にしている

整備事例

トラッド目白（NTT都市開発）

トラッド目白の便房配置及び機能の設置



① トイレ入口付近に表示されているピクトグラム



② 授乳室（出入口及び内部）



③ 車椅子使用者用便房等の出入口



④ 車椅子使用者用便房等の内部



⑤ カートのまま入れる便房（入口付近に設置）



⑥ 洗面台

事業者の取組内容と整備事例

● 主な取組内容 ●

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

- トイレ整備に関する方針等
- 「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」を踏まえるとともに、東京都福祉のまちづくり協議会と連携して実施した「アクセシビリティ・ワークショップ」において学識経験者や障害者団体から聴取した意見を反映し整備を実施
 - 整備方針として、**トイレ機能の分散配置**を行うほか、便房へのフラッシュランプの設置、トイレ内のボタン配置の統一、使用中かどうか見てわかる便房扉鍵の設置、便房扉へのピクトグラム表示、手すりのコントラストを確保するなど**設備に関する仕様**についても定める

- トイレ整備及び機能分散の状況
- 有明コロシアム（既存施設の改修）
- 車椅子対応トイレや男女共用トイレを改修、増設し、さらに利用集中を緩和するため、**各所男女別トイレにもオストメイト用設備や乳幼児連れ用設備を分散して設置**
 - 異性の介助者が同行することを想定し、**男女共用トイレにはカーテンを設置するとともに、一部には衝立や椅子を配置**
 - 設備の場所を示すため、フロアの案内図およびトイレ入口の案内図に設備のピクトグラムを表示

- 有明アリーナ（新施設設）
- 機能分散を図るため、利用者のニーズに合ったトイレを複数種類設置**（「車椅子対応トイレ（大型ベッド（600×1500mm）・オストメイト用設備があるもの・ないもの）」、「男女共用トイレ」、「オストメイト対応トイレ」、「乳幼児対応トイレ」、「手すり付トイレ」の5種類）
 - プライバシーの確保のため、**車椅子対応トイレおよび男女共用トイレ内にはカーテンを設置**
 - 異性の介助者が同行することを想定し、男女共用トイレの一部には椅子を設置
 - 設備の場所を示すため、フロアの案内図ではピクトグラムを使って設備の大まかな位置を表示し、あわせて他のフロアの設備配置状況も表示し、トイレ入口案内図では、どの個室にどのような設備があるのかピクトグラムで表示

- その他
- トイレに隣接してカームダウン・クールダウンのための個室を整備し、椅子や大型ベッド（トイレ内に設置されたものより大きく、折り畳み式ではないもの）を設置



有明コロシアム（1階西側）トイレ入口



有明コロシアム フロア案内図（1階）



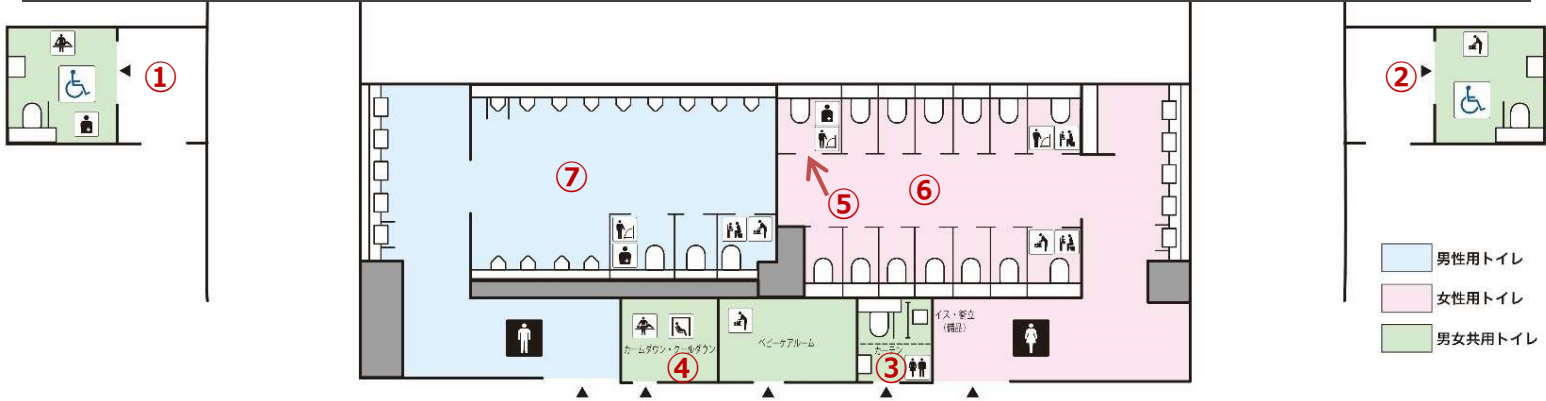
有明アリーナ フロア案内図（2階）

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

有明コロシアム（東京都オリンピック・パラリンピック準備局）

有明コロシアム（1階西側）の便房配置及び機能の設置



①車椅子使用者用便房等（車いす対応トイレ）
（オストメイト用設備・大型ベッド付）



②車椅子使用者用便房等（車いす対応トイレ）
（乳幼児連れ用設備付）



④カームダウン・クールダウン



⑤男女別一般トイレ内のオストメイト用設備付便房



⑥女性用トイレ



⑦男性用トイレ

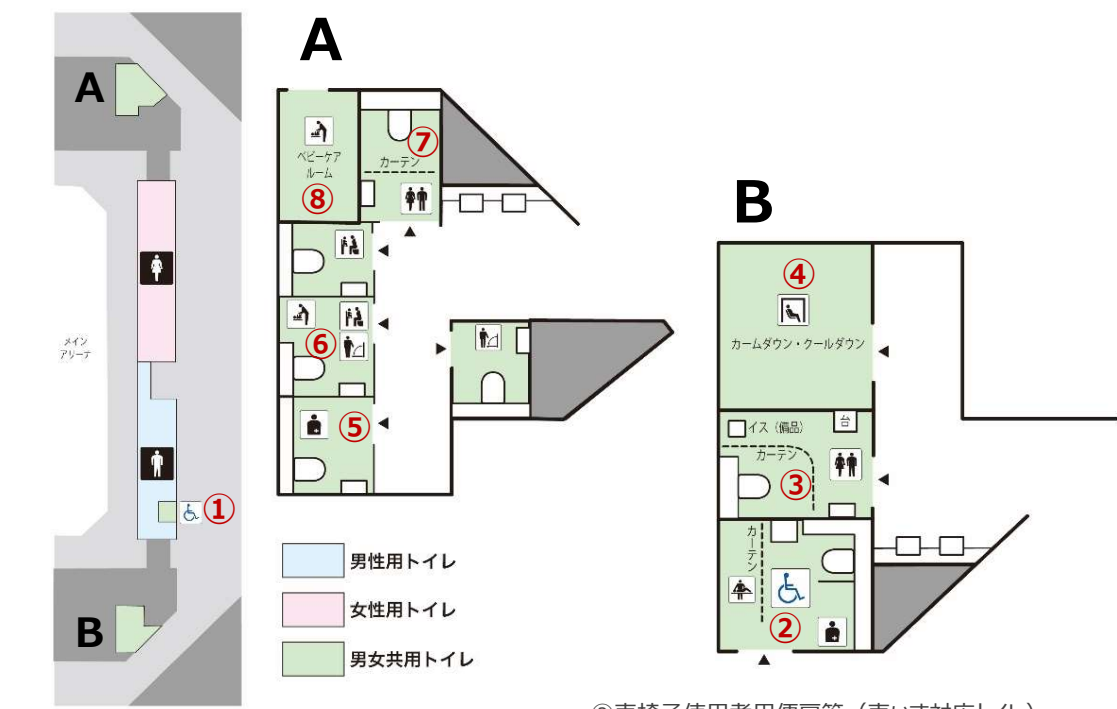


事業者の取組内容と整備事例

整備事例

有明アリーナ（東京都オリンピック・パラリンピック準備局）

有明アリーナ（2階南側）の便所配置及び機能の設置



事業者の取組内容と整備事例

主な取組内容 豊島区

トイレ整備に関する方針等

- 「トイレは街の品格や企業のイメージにつながる」という考えからトイレ整備を重要視しており、整備を推進している
- 南池袋公園のトイレ整備においては、当初整備した便房数では清掃を行う時間が確保できないほど混み合ったため11ブース追加で便房を整備するなど、施設の利用実態に応じて臨機応変に検討を行っている

トイレの整備及び機能分散の状況

- 授乳室、ベビーカー置き場、おむつ交換台、親子トイレ等を設置した「パパママ☆すぽと」を設けることで、一般便房や車椅子使用者便房等から乳幼児連れ対応設備を分散
- 便房や洗面台とは別に、パウダーコーナーとフィッティングコーナーを設けることで、トイレの利用と着替えや化粧での利用を分散
- 車椅子使用者便房等のほか、男女共用トイレを設置

その他

- 隣の敷地のホールとつながっている区民センターに多人数が利用可能なパブリックトイレを設けることで、幕間のトイレ利用が分散できるように施設間連携が考慮されている
- 女性が安心して利用できるトイレを目指し、消費材メーカーとタイアップするほか、トイレコンシェルジュの配置やアロマによる香りの提供を実施



トイレ案内図（南池袋公園）



パパママ☆すぽと 親子トイレ（としま区民センター）



パパママ☆すぽと ベビーカー置き場（としま区民センター）

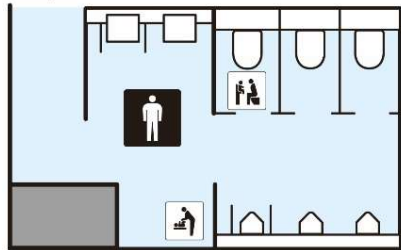
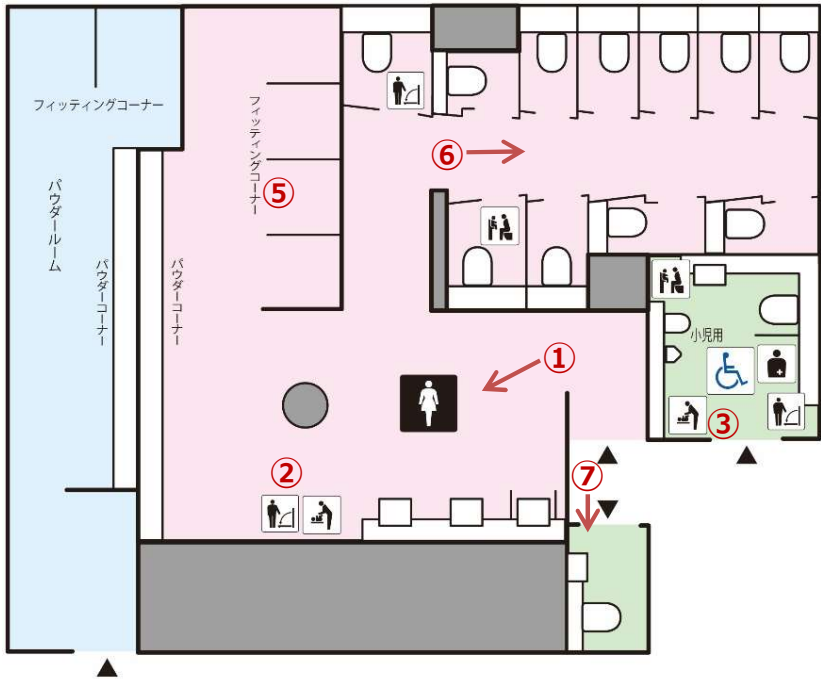


パパママ☆すぽと おむつ交換台（としま区民センター）

整備事例

としま区民センター（豊島区）

としま区民センター（3階）の便所配置及び機能の設置



男性用トイレ 女性用トイレ 男女共用トイレ



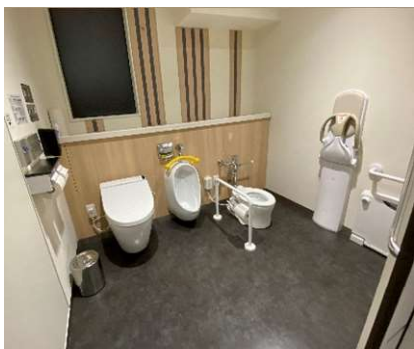
①女性トイレ洗面台とパウダーコーナー



②女性トイレ内に設置されたおむつ交換台と着替え台



③車椅子使用者用便房等



④設置されている設備をピクトグラムで案内



⑤フィッティングコーナー



⑥女性トイレ



⑦男女共用トイレの入り口